

報道関係各位  
展覧会のご案内

Shimekazari:  
Swirling Wisdom,  
Future Folk  
Implements



このあと皆で  
呑む酒が楽しみで  
作ってんだ

しめかざり

未来の民具

生活工房

三軒茶屋 キャロットタワー三・四階  
生活工房ギャラリー  
ワークショップルームA・B

世田谷  
芸術百華  
2019-2020  
世田谷文化生活情報センター  
生活工房  
Lifestyle Design Center

2020年  
十一月二十八日(土)から  
十二月二十七日(日)まで  
十時～十八時 月曜休み  
入場無料

渦巻く智恵

本展に関するお問い合わせ：生活工房 石山(広報)、大竹  
154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー  
TEL/03-5432-1543 FAX/03-5432-1559  
Email/info@setagaya-ldc.net

## Summary

新年の福德を授けるというトシガミ様を迎えるため、日本各地で製作されてきた「しめかざり」。

生活様式の変化にともない、近年では本来の意味から離れ、年末年始を彩る手軽な装飾として用いられることも多くなりました。

しかし、しめかざりの造形には想像以上の多様性・地域性があり、一つ一つに作り手の「想い」が込められていることは意外と知られていません。

そんなしめかざりに魅せられたグラフィック・デザイナーの森須磨子氏は、この20年ほど「しめかざり探訪」として日本中を歩いてきました。

本展では、同氏がこれまでにリサーチしてきた様々なしめかざりの中から約100点を展示紹介します。

風土に根差した素材やかたち、そこに込められた先人の智慧を探り、現代に生かせる「未来の民具」としての可能性に光を当てます。



画像2  
福島県会津若松市「ケンダイ」

画像3  
三重県伊賀市「エビス馬」

## Profile



### 森 須磨子 もり すまこ

1970年、香川県生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科修了。同大学助手を経て、2003年に独立。グラフィックデザインの仕事を続けながら、全国各地へしめかざり探訪を続けている。しめかざり関連の執筆、講座、展覧会企画、監修、メディア出演など活動多数。著書に、たくさんのふしぎ傑作集『しめかざり』（福音館書店）、『しめかざり——新年の願いを結ぶかたち』（工作舎）など。

※取材をご希望の方は生活工房へお問い合わせください

noteにて「しめかざり探訪記」連載中!!



## Topics

全国に数百種類あると思われるしめかざりですが、調査のときにいつも驚かされるのは、現地の人が必ず「うちのしめかざりは普通だから・・・」と言うこと。私は、「普通」のしめかざりなど見たことがありません。

森須磨子『しめかざり——新年の願いを結ぶかたち』(2017年、工作舎)より

### Topic1 大厄災の年をしめ括る展覧会

しめかざりとは、正月にトシガミ様を迎える準備として、家の内外に飾りつける藁のできたお飾りです。

トシガミ様は、新しい年の福を授ける神様。2020年は大厄災の年となりましたが、2021年が良き年となるよう、願いを込めて開催いたします。



画像4  
静岡県御殿場市「ブッチガイ」

### Topic2 しめかざりの飾らない姿、藁が象る「素のかたち」



普段私たちが目にするしめかざりは、様々な装飾が付いた状態です。

それゆえ、土台となる藁のかたちに気づかず、どれも同じに見えてしまいます。

今回の展覧会で着目するのは、装飾を脱いだ、「素のかたち」のしめかざりです。

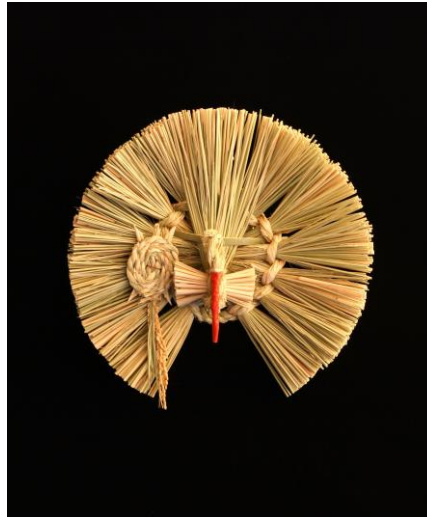
画像5  
宮城県気仙沼市「ホシノタマ」

## Topic3 「普通の」しめかざりは存在しない

しめかざりのかたちは千差万別。土地によってそのかたちは全く異なります。日本各地の風土に根差した素材やかたち、そこに込められた先人たちの智慧をご紹介します。



画像1  
広島県広島市「宝珠」



画像6  
福岡県田川郡「鶴」



画像7  
京都府京都市「ちよるけん」

## Topic4 月下のしめかざり

### 展示構成

#### 【第1室】しめかざり時空探訪〈3F〉

しめかざりの多様性、構造、歴史等を写真・グラフィックで紹介。  
また、装飾を外した「素のすがた」にも着目し、そのかたちを解説。

#### 【第2室】月下のしめかざり〈4F〉

トシガミは大晦日の夜にやって来るといふ。  
月あかりに照らされた姿をイメージして、約100点のしめかざりを展示。

#### 【第3室】渦巻く智慧 未来の民具〈4F〉

しめかざりに込められた智慧を探り、現代に生かせる「未来の民具」として提案する。入口には戦前の宮城県丸森町の門飾りを再現。



画像8  
埼玉県児玉郡「お顔隠し」

## Outline

- 展覧会名** 渦巻く智恵 未来の民具 しめかざり  
Shimekazari: Swirling Wisdom, Future Folk Implements
- 会 期** 2020年11月28日(土)～12月27日(日)  
10:00～18:00 月曜休み
- 料 金** 入場無料
- 会 場** 生活工房(三軒茶屋キャロットタワー3・4F)  
154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1  
TEL 03-5432-1543 / FAX 03-5432-1559  
www.setagaya-ldc.net
- 交通案内** 東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋駅」直結  
東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び抑制のため、ご入場に際し、マスクの着用、検温、連絡カードの記入のご協力をお願いしております。混雑時は入場制限をさせていただく場合がございます。  
※展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合がございます。お出かけの前に、最新情報を生活工房ホームページでご確認ください。

- 主 催** 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
- 企画制作** 森須磨子
- 協 力** 公益財団法人下中記念財団
- 後 援** 世田谷区、世田谷区教育委員会

### 展覧会紹介ショートver. (約200字)

新年の福徳を授けるトシガミ様を迎えるため、日本各地でつくられてきた「しめかざり」。地域によってその造形は全く異なり、一つ一つに作り手の「想い」が込められています。本展では、グラフィック・デザイナーの森須磨子氏がこれまでにリサーチしてきた様々なしめかざりの中から約100点を展示紹介し、風土に根差した素材やかたち、そこに込められた先人の智恵を探り、現代に生かせる「未来の民具」としての可能性に光を当てます。

### 展覧会紹介ショートショートver. (約80字)

日本各地のしめかざり約100点を展示紹介し、風土に根差した素材やかたち、そこに込められた先人の智恵を探り、現代に生かせる「未来の民具」としての可能性に光を当てます。

# 「渦巻く智恵 未来の民具 しめかざり」 広報用画像の貸し出しについて

展覧会広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は貸出条件をご確認いただき、下記①～⑨の必要事項を明記のうえ、Eメールにてお申し込みください。

なお、本展紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正原稿をお送りください。

また、掲載後、掲載誌、URL等を広報担当宛てにお送りいただきますようお願い申し上げます。

## 【貸出条件】

- ◆画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ◆画像データは、ご使用后必ず消去してください。
- ◆画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◆画像1～8の掲載時には次の撮影者クレジットを付記してください。撮影:森須磨子

## 【必要事項】

- ① 媒体名 (雑誌名/番組名/WEBサイト名ほか)
- ② 媒体種別 (新聞/雑誌/フリーペーパー/テレビ/ラジオ/WEBサイトほか)
- ③ 発売・放送・更新予定日
- ④ 御社名
- ⑤ ご担当者名
- ⑥ ご住所
- ⑦ Eメールアドレス
- ⑧ 電話番号
- ⑨ ご希望の画像番号

- 画像1 (P4掲載) 広島県広島市「宝珠」
- 画像2 (P2掲載) 福島県会津若松市「ケンダイ」
- 画像3 (P2掲載) 三重県伊賀市「エビス馬」
- 画像4 (P3掲載) 静岡県御殿場市「ブッチガイ」
- 画像5 (P3掲載) 宮城県気仙沼市「ホシノタマ」
- 画像6 (P4掲載) 福岡県田川郡「鶴」
- 画像7 (P4掲載) 京都府京都市「ちよろけん」
- 画像8 (P4掲載) 埼玉県児玉郡「お顔隠し」
- 画像9 (P1掲載) (キャプション・クレジット不要)

**生活工房 広報担当 石山 行き**  
**Email info@setagaya-ldc.net**